

ISO/TC 211総会報告

ISO (International Organization for Standardization : 国際標準化機構) は、世界的な標準化及びその関連活動の発展を図ることを目的に 1947 年に発足し、ノルウェーを議長国とした非政府機関です。

ISO の中には多くの Technical Group (専門委員会) が設けられ、それぞれの専門分野における国際標準の検討を行っています。その一つとして、“地理情報の標準化を検討する専門委員会 (ISO/TC 211: Geographic Information / Geomatics)” が、1994 年に設立され、わが国も地理空間情報の国際標準の作成に積極的に貢献するため、P メンバー (正式メンバーで、総会出席の義務及び投票の権利を有する) として参加しています。

ISO/TC 211 では、現在までに地理空間情報の設計方法や品質の考え方、地理空間情報を使った各種サービスの仕様などの国際規格群が「地理情報標準」として生まれています。これらの規格群は、「地理空間情報活用推進基本計画」で引用されるなど、日本における地理空間情報社会の高度化の実現に大きく貢献しています。

ISO における標準化は各国の作業団体が各国を代表して参加し、投票によって規格作成の段階が進みます。投票の対象となっている規格の背景把握、内容調整、方針決議ができるのが“総会”となります。総会は 1 年間で春季と秋季の 2 回開催されており、開催国は世界各国を順次決定されています。日本では 1999 年に第 9 回京都総会が、2008 年に第 28 回つくば総会が開催されています。

標準化の作業項目は国や団体単位で提案していますが、編集作業は総会の期間中の各会議体で行われます。また、編集作業には規格の提案国及び団体だけでなく、必要に応じて登録されたエキスパートと呼ばれる各国の代表が参加します。

ISO/TC 211 総会は 2015 年 12 月に第 41 回シドニー総会 (オーストラリア) が、2016 年 6 月に第 42 回トロムセ総会 (ノルウェー) が開催されました。総会では WG (ワーキンググループ)・EC (編集委員会)・PT (プロジェクトチーム) 等の分科会討議や 2 日間にわたる本会議及びレセプション、テクニカルツアー等の関連行事を含めて、5 日間の日程で開催されます。総会には、わが国をはじめ、地理情報の国際規格作成に参加している約 38 の国・地域及び ISO 内外のリエゾン団体 (関連機関) からそれぞれ約 70 ～ 90 名の参加がありました。

現在作業中の規格の一つに、WG10 の中心とし結成された PT 19155-2 (場所識別子 (PI) アーキテクチャー第 2 部: 場所識別子 (PI) リンク) があります。これは日本の植原啓介氏 (慶應義塾大学准教授) をプロジェクトリーダーとして原案の作成、とりまとめを担当しています。第 41 回シドニー総会のプロジェクトミーティングでは、従前の DIS (国際規格原案) 投票前の意見照会において寄せられたコメントに丁寧に対応し、各国の反対意見がないことを確認した上で DIS 投票を行いました。また、日本から新たに測位信頼性モデルという新規作業項目を開始するにあたり、主に WG10 内での専門家にヒアリングを行いました。第 42 回トロムセ総会では、古い規格である ISO 19116 (測位サービス) の見直しの新プロジェクトを日本主導で開始することになりました。この規格は郡司哲也氏 (JIPDEC) をプロジェクトリーダーとして作業を進めています。

また、長年幹事国を務めたノルウェーの任期満了に際し、2017 年 1 月より幹事国がスウェーデンに交代することになりました。

次回の総会は 2016 年 12 月に第 43 回レッドランズ総会 (アメリカ合衆国) で開催されます。

■第 41 回 ISO/TC 211 総会

開催日時：平成 27 年 12 月 7 日（月）～ 11 日（金）

開催国・会場：オーストラリア、シドニー Menzies Hotel

日本からの参加者：4 名

藤村 英範（国土地理院 / 団長）、

プルス・W・リース（一般財団法人 日本情報経済社会推進協会（JIPDEC））

郡司 哲也（同上）

■主な決議事項

- ・プロジェクト運営上の決議（新規プロジェクトの登録、改訂作業開始、投票開始指示等）
- ・オステンセン議長（ノルウェー）の任期の特例的な 1 年延長を ISO 技術管理評議会（TMB）が承認することを勧告する。（※ ISO の改正ルールで定まった議長の最長任期をオステンセン議長が超過しており、かつノルウェー規格協会の意思決定が間に合わなかったための特例措置）
- ・国連地球規模の地理空間情報管理に関する専門家委員会（UNCE-GGIM）の事務局である国連統計部（UNSD）とリエゾンを結ぶ。
- ・ISO/TC 211 の用語集（MLGT: Multilingual Glossary of Terms）を UN-GGIM の知識ベースに登録する。
- ・見直し時期となった古い規格 8 件について、専門委員会（TC）の立場から各国の投票ガイドラインを示す。

■第 42 回 ISO/TC 211 総会

開催日時：平成 28 年 6 月 13 日（月）～ 17 日（金）

開催国・会場：ノルウェー、トロムセ
Radisson Blu Hotel

日本からの参加者：3 名

藤村 英範（国土地理院 / 団長）、

プルス・W・リース（一般財団法人 日本情報経済社会推進協会（JIPDEC））

郡司 哲也（同上）



総会会場風景



総会参加者

■主な決議事項

- ・プロジェクト運営上の決議（新規プロジェクトの登録、改訂作業開始、投票開始指示等）
- ・日本（JIPDEC）主導による測位サービス見直しの新プロジェクトを開始。
- ・見直し時期となった古い規格について、専門委員会（TC）の立場から各国の投票ガイドラインを示す。
- ・オステンセン議長、ボティ氏（オーストラリア・Sparx Systems（作図ツール企業））及びフォウスト氏（アメリカ合衆国・Esri（地理情報システム企業））を ISO/TC 211 から第 6 回地球規模の地理空間情報管理に関する専門委員会（UN-GGIM6）への代表に指名。
- ・ISO/TC 211 幹事国への中国、スウェーデン、トルコの立候補に感謝し、TMB 決議 66/2016 に基づくスウェーデン標準化機構（Swedish Standard Institute）の選出を祝福。
- ・第 43 回総会ウィークを 2016 年 11 月 28 日～ 12 月 2 日にレッドランズ（アメリカ合衆国）で開催。第 44 回総会を 2017 年 5 月から 6 月にストックホルム（スウェーデン）で開催。